



2008年10月30日

## デルタ航空とノースウエスト航空が合併、世界最大の航空会社が誕生

**【米国アトランタ、2008年10月29日】** – デルタ航空(NYSE:DAL)は本日、ノースウエスト航空と合併し、世界の主な旅行目的地のほぼ全域を網羅する、世界最大の航空会社となりました。

新会社の社名は「デルタ航空」となり、米国アトランタに本社を置き、どの航空会社より多い世界 375 都市へ運航し、約 7 万 5,000 人の従業員を擁する統合会社としての初日を迎えました。同社のもつ最善のコスト構造と高い流動性収支により、弱含みをみせる世界経済に対応することが可能になります。

アトランタ、シンシナティ、デトロイト、メンフィス、ミネアポリス/セント ポール、ニューヨーク(JFK)、ソルトレイクシティ、東京(成田)の全てのハブ空港は合併後も維持され、世界中の都市へのアクセスがさらに便利になります。

デルタ航空の最高経営責任者(CEO)、リチャード・アンダーソンは次のように述べています。「新デルタ航空は、業界のリーダーである 2 社の強みを統合した世界最大の航空会社となり、お客様にこれまでにない豊富な路線網とサービスを提供することができるようになりました。これまでも述べてきたように、今回の合併は、かつてない新しいタイプの合併といえます。これは両社が互いを補完する性質を備えていること、そしてこの合併を業界最高の成功例として実現するために尽力した従業員のおかげです。」

デルタ航空とノースウエスト航空のサービスは今後 12 ヶ月から 24 ヶ月かけて、順次統合される予定です。当面の間、お客様のチェックインや取引は合併前と同様に、フライトを運航するそれぞれの航空会社が直接受け付けます。両航空会社のウェブサイトwww.delta.comおよびwww.nwa.co.jp、ならびに両社の予約システムとお客様向けのプログラムは、それぞれが運営を継続します。

両社の合併完了により、業界で最も財政的に安定した航空会社 2 社が統合され、最善のコスト構造と業界をリードする優良な財務諸表を持つ航空会社が誕生しました。この合併により年間売上高とコスト削減効果において 20 億ドル以上の効果が創出されると見込まれます。コスト削減効果は、機材の有効利用や包括的で多様な路線網、および間接費削減と営業効率改善によるコスト削減によるものです。合併に要する一時的な現金費用は 6 億ドル以下と予想しています。既に今年の株主総会で両社の株主によって承認されたとおり、ノースウエスト航空の株主は、所有する株式 1 株につき 1.25 のデルタ株を受け取ります。

今回の合併が市場の競争に与える影響を検証したうえで、米国司法省(DOJ)は合併に対して異議を唱えないと決定しました。その通達を受けて、デルタ航空はノースウエスト航空との合併契約を締結しました。なお、既に欧州委員会からは合併について許可を得ています。

ノースウエスト航空の買収をもって、デルタ航空は、米国内および海外の各主要市場で首位に立つ、世界最大の航空会社になります。アトランタ、シンシナティ、デトロイト、メンフィス、ミネアポリス／セントポール、ニューヨーク、ソルトレイクシティ、東京(成田)をハブ空港として、デルタ航空およびその傘下となったノースウエスト航空は、世界 66 カ国 375 都市へ運航し、搭乗者数は年間 1 億 7 千万人以上にのぼります。デルタ航空のお客様は、スカイチームやそのほかの提携航空会社が運航する毎日 1 万 6,000 便以上のフライトについて、SkyMiles または WorldPerks のいずれかを獲得し、特典旅行に交換することができます。デルタ航空および世界 7 万 5,000 人の従業員は、完全なグローバルネットワークを提供する米国唯一の航空会社として、航空業界の再生を促します。

リリースに関するお問い合わせ先:

太平洋地区広報部  
電話 03-5400-7230

または  
エデルマン・ジャパン株式会社  
担当: 吉澤/ロックマン  
電話 03-6403-5705/5212